

# 穂 学

令和2年度  
広州日本人学校 学校便り  
[No. 9]  
令和2年7月8日(水)  
発行責任者 校長 喜屋武浩司

## 「星に願いを」

7月7日は七夕(たなばた)ですね。七夕は五節句の一つで、縁起のよい「陽数」とされる奇数が連なる7月7日の夕べに行われるため「七夕の節句」といいます。日本では、1月1日(元旦)、3月3日(桃の節句)、5月5日(端午の節句)の次に来る節句。ちなみに、9月9日は「重陽の節句」といいます。

7月7日の夕方を表す「七夕」は「しちせき」と呼ばれていましたが、「棚機(たなばた)」にちなんで「たなばた」という読み方になっていったようです。

本校でも小学部1年生と2年生の生活科で、七夕の節句を祝う授業を行いました。折り紙でいろいろな飾りを作り、短冊に自分の願いを書いて、裏山から取ってきた竹に飾り付けをしました。

子どもたちの短冊に込めた願いをいくつか紹介します。

- 「ピアノがじょうずになりたい」(1年うちだゆうかさん)
- 「テコンドーをがんばりたい」(1年もろおかゆうとさん)
- 「サッカー、やきゅうをがんばりたい」  
(1年さいとうしょうえいさん)
- 「ちりの先生になりたいです」(2年たかはしこうせいさん)
- 「かぞくがなかよくくらせるように」(2年ふじたりゅうのすけさん)
- 「せかいいちのサッカーせんしゅになっておかねもちになれるように」  
(2年さかいじゅんやさん)

今年は、コロナウイルスの影響でみんな寂しい思いをしていることもあり、次のようなお願いも多くありました。みんなの優しい気持ちが伝わるといいな。

- 「コロナがなくなりますように」(1年はらだしゅんさん)
- 「コロナのくすりができますように」(2年みやじまたくみさん)
- 「おばあちゃんとおじいちゃんのはやくかえってこれるように」  
(2年いはらわたるさん)

